

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立北部中学校

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びを実現するタブレットの活用

総合的な学習の時間(縦割り総合)

北部中での総合的な学習の時間

学年総合

- 1年生 集団宿泊教室(阿蘇)に向けた学習 など
- 2年生 ナイス・トライ・修学旅行に向けた学習 など
- 3年生 Future Creators(探究学習)・進路学習 など

縦割総合

- 前期北部SDGs (2・3年生)
- 後期北部SDGs (1・2年生)

グループング: 委員会の割り振りを活用
(学級委員会は別の委員会て学習をします)
授業担当の先生: 委員会の担当の先生

北部SDGsの学習計画(前期)

次	日	曜日	時	学習活動	備考
0	5/24	水	⑤	ガイダンス	本会学年一斉オンラインガイダンス
1	5/24	水	⑥	課題発見①	
2	5/31	水	⑥	課題発見②	
3	6/7	水	⑥	課題設定①	
4	6/14	水	⑥	課題設定②	
5	6/28	水	⑥	情報収集①	
6	7/5	水	⑥	情報収集②	
7	7/12	水	⑥	情報整理・分析①	
8	7/19	水	⑥	情報整理・分析②	
9	7/26	水	⑥	課題解決の確証	
10	9/20	水	⑥	課題解決への報告作成	
11	9/27	水	⑤⑥	コース内発表会	本学級発表会での発表場を通じ
*	9/29	金	②-④	前期学習発表会	本各コースの代表者が発表

学年や学級にとらわれず、自ら見出した課題を追究する総合的な学習の時間で、すべての活動場においてタブレットを活用する。操作スキル等は、教師主導ではなく生徒同士で学び高めあう。発表は、校内オンライン。コンテスト形式で行う。

個別最適な学び(学習の個性化)

台風

日本で風力発電所が少ない理由は?

オーストラリアやニュージーランドに移住した人もかなりいた

個に応じた学習課題や学習活動を提供するためのカリキュラムマネジメントが大切。「何を学んだのか」以上に「学びどう活かすのか」を意識させて課題に取り組ませる。自らの学習をより最適なものに自己調整する力を育成するのが目的。

協働的な学び(企業とタイアップ、分業制)

取り組み

〈内容〉
熊本の食材(あまなつ)を使った簡単にできるドーナツ棒のレシピを考える

↓

〈効果〉 地産地消に貢献する

地元企業に協力していただきました

地域の団体や企業とタイアップしての学習活動や、プログラミング担当やプレゼン担当など分業での学習活動など、多様な他者との協働を通じて学びを深める。また価値観の相違や課題の一致など活動を通して他者を尊重する態度を身につける。